

新治小学校だより



ひびく心 はずむ体 見つめる目
～新治のよさを持続して生かしながら、
よりよい社会を創ろうとする子どもを育む学校を目指して～

令和5年度
7月号
令和5年6月30日



新型コロナウイルス感染症を乗り越えての学校行事

副校長 青木 直美

早いものでもう7月です。梅雨の蒸し暑い日が徐々に増えてきました。6月は台風が来たこともあり、運動会の直前は雨の日が多くはらはらしました。当日は雨で日曜日に順延となりましたが、水はけのよい校庭のおかげで、絶好の運動会日和の中、開催することができました。子どもたちは運動会に向けて徒競走の記録の測定に始まり、演技の練習、全校児童での全体練習、また赤白それぞれのマスコットの旗づくりと中休みや昼休みにはリレーの練習や応援の練習と、6年生を中心に頑張っていました。低学年は中休みや昼休みにいつも通りに遊べないこともあったと思います。全体練習では、入場行進や準備体操、応援合戦など初めての1年生もやっと小学校生活に慣れてきたところとは思えないほど演技の練習や歌の練習に取り組んでいてすばらしかったです。子どもたちの応援の声の出し方や、歌声、入場行進や準備体操の様子を見ると、6年生が学校のリーダーとしてみんなを引っ張っていこうという気持ちと「運動会頑張るぞ」という気持ちが伝わってきました。前日準備や当日の5・6年生の係活動の様子もそれぞれが自分の仕事にしっかりと取り組んでいて見ていて気持ちのよいものでした。これまで新型コロナウイルス感染症の感染対策もあり、何ができるかを考え、安全を最優先で考えざるを得ない状況でしたが、久しぶりに緊張感をあまり感じることなく実施できたのではないかと思います。保護者の皆様にも、優先撮影エリアや入場シールの対応などご協力ありがとうございました。

あらためて、子どもたちは運動会では異学年の集団の中で自分の役割を果たすこと、高学年はリーダーとして集団を引っ張ること、自分が活動の主体者として活動することなどを通して成長していることを実感しました。これからも社会科見学や、遠足、宿泊行事や新治ラリーなど、いろいろな行事を通して成長する姿が見られることと思います。活動に主体的にかかわる、自分の役割を理解して行動する力は、学習活動の中で主体的に学ぶ、学びを調整する力にも通じていると思います。ぜひ積極的に役割を引き受けて行事にかかわってほしいと思います。

先日、プール開きがありました。子どもたちに安全の鍵を渡し、プール学習を安全に楽しく行えるように全校児童で確認をしました。プール学習は子どもたちにとって楽しみな学習の一つですが、体育の授業の中では特に安全に注意が必要な学習でもあります。新型コロナウイルス感染症は5類となり、学習活動の自由度がだいぶ以前の状況に戻ってきましたが、感染症自体がなくなったわけではありません。健康に留意して、安全に学習を行っていきたいと考えています。本校では昨年、一昨年も学年ごとの水泳学習を感染に注意しながら行っていたので、学校でプール学習の経験がないのは1年生だけですが、2学年合同でのプール学習は3年ぶりとなります。自分の目当てを持ち、新治ならではの異学年との学び合いを通して学習に取り組んでほしいと思います。また、今年度より、プールカードをアプリでの連絡にしたり、プール学習の承諾に電子申請システムを活用したり、変更している点もいくつかあります。今後もこのようにICTを活用していくことになるかと思います。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。